

平成 22 年 4 月 9 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社
代表者 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証マザーズ)
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦
電話番号 03-5730-2480

**メドレックスとアンジェス MGが基本合意書を締結
－NF- κ B デコイオリゴ含有経皮製剤の導入に関する正式協議を開始－**

当社は、この度、株式会社メドレックス(以下、メドレックス)との間で、NF- κ B デコイオリゴの皮膚浸透性を向上させる高分子(核酸)経皮吸収技術の導入に関する協議を開始する事に合意しましたのでお知らせいたします。

当社とメドレックスはこれまで、NF- κ B デコイオリゴの皮膚浸透性を一層改善するため、メドレックスが保有するイオン液体を利用した経皮製剤技術ILTS (Ionic Liquid Transdermal System)を用いた新たな製剤の共同開発を実施してまいりましたが、この度、当社はこのILTS技術に係わる実施権の取得に関し、メドレックスと本格的に協議を開始することいたしました。

ILTS技術により、当社が従来開発してまいりました軟膏製剤と比べ、NF- κ B デコイオリゴの経皮吸収率を大幅に向上させることが可能となるため、より広範囲の炎症性皮膚疾患への応用が期待できるとともに、NF- κ B デコイオリゴの事業性を向上させる事も可能になると考えております。

NF- κ Bデコイオリゴ軟膏は、これまでの臨床試験において、中等症以上の顔面のアトピー性皮膚炎に対して治療効果が確認されております。一方、ステロイド外用剤に認められる潮紅、皮膚萎縮及び多毛等の局所副作用は認められていません。また、タクロリムス軟膏で高頻度に認められる刺激症状や、両薬剤に認められるざ瘡(にきび)や皮膚感染症についても、プラセボ同様の低い発現率に限られております。したがって、その安全性は既存の治療薬より優れ、現在のアトピー性皮膚炎治療のアンメットニーズを解決する長期間に渡り安心して塗布できる薬剤となる可能性が期待されております。

また、当社は現在塩野義製薬株式会社と NF- κ B デコイオリゴの外用剤全般を共同で開発し、独占的に販売する権利を付与する協議も並行して進めております。

なお、本件による 2010 年 12 月期における業績に与える影響は現在算定中であり、明確になり次第公表させていただきます。

【ご参考】

社名： 株式会社メドレックス
本社： 香川県東かがわ市西山 431-7
代表者： 代表取締役社長 松村 眞良
設立： 平成 14 年 1 月
資本金： 1,622 百万円(平成 21 年 12 月末)
従業員： 27 名(平成 21 年 12 月末)
連結売上高： 449 百万円(平成 21 年 12 月期)
事業内容： 新規 DDS (Drug Delivery System) 製剤の開発
製剤技術を基軸とした医薬品開発

－ 用語の解説 －

1. NF- κ B (nuclear factor-kappa B)

NF- κ B は、サイトカインや接着因子など免疫反応に関する遺伝子の発現を調節する役割をもつ転写因子です。NF- κ B がゲノム上の結合部位に結合すると、免疫反応に関する遺伝子が過剰に発現します。このため、NF- κ B は、免疫反応が原因となるアトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチへの関与が指摘されています。

2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合することで発現しますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

3. NF- κ B デコイオリゴ (NF- κ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- κ B デコイオリゴは、NF- κ B に対するデコイであり、当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

4. イオン液体

融点が100℃以下の塩のことで、常温溶融塩とも呼ばれています。低融点、高イオン伝導性、高極性、不揮発性、不燃性等の特徴を有しており、太陽電池や環境に優しい反応溶媒等、多方面における応用が検討されています。

以上